

19. 参考資料

1) 手当にかかる所得限度額 ※令和7年8月1日現在

(1) 所得制限限度額表

		受給者本人所得制限(注④)		配偶者及び扶養義務者
		特別児童扶養手当	特別障害者手当 障害児福祉手当	全手当共通
扶養親族等の人数	0人	4,596,000円未満	3,661,000円以下	6,287,000円未満
	1人	4,976,000円未満	4,041,000円以下	6,536,000円未満
	2人	5,356,000円未満	4,421,000円以下	6,749,000円未満
	3人	5,736,000円未満	4,801,000円以下	6,962,000円未満
	4人	6,116,000円未満	5,181,000円以下	7,175,000円未満
	5人	6,496,000円未満	5,561,000円以下	7,388,000円未満
	6人以上	1人増すごとに 380,000円を加算	1人増すごとに 380,000円を加算	1人増すごとに 213,000円を加算

(2) 諸控除一覧表

控除の種類	受給者本人(注④)		配偶者及び扶養義務者
	特別児童扶養手当	特別障害者手当 障害児福祉手当	全手当共通
雑損控除、医療費控除、配偶者特別控除、小規模企業共済等掛金控除	相当額	相当額	相当額
社会保険料控除	8万円	相当額	8万円
障害者控除(本人)	27万円	—	27万円
障害者控除(扶養親族・控除対象配偶者)	1人につき27万円	27万円	1人につき27万円
特別障害者控除(本人)	40万円	—	40万円
特別障害者控除(扶養親族・控除対象配偶者)	1人につき40万円	40万円	1人につき40万円
寡婦控除	27万円	27万円	27万円
ひとり親控除	35万円	35万円	35万円
勤労学生控除	27万円	27万円	27万円
業務調整控除	最大10万円	最大10万円	最大10万円

注意

- ① 所得は前年分が対象となります。なお、所得には退職所得と山林所得を含み、株式の譲渡所得と分離課税を選択した上場株式に係る配当所得は含みません。また、特別障害者手当の受給者本人の所得の内、公的年金等に係る雑所得は、障害年金等の非課税年金も収入金額に含め、年齢に関わらず一律65歳未満の控除額の計算式を適用して算出します。
- ② 支給の可否は、所得から(2)諸控除一覧表の各控除額を引いた額が、(1)所得制限限度額表の額未満(以下)であるかで判断します。
- ③ 70歳以上の老人控除対象配偶者及び老人扶養親族、16歳以上19歳未満の控除対象扶養親族、19歳以上23歳未満の特定扶養親族がいる場合、所得限度額に一定の額が加算されます。
- ④ 受給者本人とは、特別児童扶養手当では世帯主等(生計中心者)であり、特別障害者手当及び障害児福祉手当では障害者(児)です。

2) 障害程度等級表 (太実線より左は旅客運賃割引の第1種、右は第2種を表します。)

		1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
視 覚 障 害		視力の良い方の眼の視力(万国式試視力表によって測ったものをいい、屈折異常のある者については、矯正視力について測ったものをいう。以下同じ。)が0.01 以下のもの	1. 視力の良い方の眼の視力が0.02 以上 0.03 以下のもの 2. 視力の良い方の眼の視力が0.04 かつ他方の眼の視力が手動弁以下のもの 3. 周辺視野角度(1/4 視標による。以下同じ。)の総和が左右眼それぞれ80 度以下かつ両眼中心視野角度(1/2 視標による。以下同じ。)が28 度以下のもの 4. 両眼開放視認点数が70 点以下かつ両眼中心視野視認点数が20 点以下のもの	1. 視力の良い方の眼の視力が0.04 以上 0.07 以下のもの(2級の2に該当するものを除く。) 2. 視力の良い方の眼の視力が0.08 かつ他方の眼の視力が手動弁以下のもの 3. 周辺視野角度の総和が左右眼それぞれ80 度以下かつ両眼中心視野角度が56 度以下のもの 4. 両眼開放視認点数が70 点以下かつ両眼中心視野視認点数が40 点以下のもの	1. 視力の良い方の眼の視力が0.08 以上 0.1 以下のもの(3級の2に該当するものを除く。) 2. 周辺視野角度の総和が左右眼それぞれ80 度以下のもの 3. 両眼開放視認点数が70 点以下のもの	1. 視力の良い方の眼の視力が0.2 かつ他方の眼の視力が0.02 以下のもの 2. 両眼による視野の2分の1以上が欠けているもの 3. 両眼中心視野角度が56 度以下のもの 4. 両眼開放視認点数が70 点を超えかつ100 点以下のもの 5. 両眼中心視野視認点数が40 点以下のもの	視力の良い方の眼の視力が0.3 以上0.6 以下かつ他方の眼の視力が0.02 以下のもの	
	聴 覚 又 は 平 衡 機 能 の 障 害	聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがそれぞれ100 デシベル以上のもの(両耳全ろう)	両耳の聴力レベルが90 デシベル以上のもの(耳介に接しなければ大声語を理解し得ないもの)	1. 両耳の聴力レベルが80 デシベル以上のもの(耳介に接しなければ話声語を理解し得ないもの) 2. 両耳による普通話声の最良の語音明瞭度が50% 以下のもの		1. 両耳の聴力レベルが70 デシベル以上のもの(40cm 以上の距離で発声された会話を理解し得ないもの) 2. 一側耳の聴力レベルが90 デシベル以上、他側耳の聴力レベルが50 デシベル以上のもの	
	平 衡 機 能 障 害			平衡機能の極めて著しい障害		平衡機能の著しい障害		
音 声 機 能 ・ 又 は 機 能 の 障 害				音声機能・言語機能又はそしやく機能の喪失	音声機能・言語機能又はそしやく機能の著しい障害			
肢 体 不 自 由	上 肢	1. 両上肢の機能を全廃したもの 2. 両上肢を手関節以上で欠くもの	1. 両上肢の機能の著しい障害 2. 両上肢のすべての指を欠くもの 3. 一上肢を上腕の2分の1 以上で欠くもの 4. 一上肢の機能を全廃したもの	1. 両上肢のおや指及びひとさし指を欠くもの 2. 両上肢のおや指及びひとさし指の機能を全廃したもの 3. 一上肢の機能の著しい障害 4. 一上肢のすべての指を欠くもの 5. 一上肢のすべての指の機能を全廃したもの	1. 両上肢のおや指を欠くもの 2. 両上肢のおや指の機能を全廃したもの 3. 一上肢の肩関節、肘関節又は手関節のうち、いずれか一関節の機能を全廃したもの 4. 一上肢のおや指及びひとさし指を欠くもの 5. 一上肢のおや指及びひとさし指の機能を全廃したもの 6. おや指又はひとさし指を含めて一上肢の三指を欠くもの 7. おや指又はひとさし指を含めて一上肢の三指の機能を全廃したもの 8. おや指又はひとさし指を含めて一上肢の四指の機能の著しい障害	1. 両上肢のおや指の機能の著しい障害 2. 一上肢の肩関節、肘関節又は手関節のうち、いずれか一関節の機能の著しい障害 3. 一上肢のおや指を欠くもの 4. 一上肢のおや指の機能を全廃したもの 5. 一上肢のおや指及びひとさし指の機能の著しい障害 6. おや指又はひとさし指を含めて一上肢の三指の機能の著しい障害	1. 一上肢のおや指の機能の著しい障害 2. ひとさし指を含めて一上肢の二指を欠くもの 3. ひとさし指を含めて一上肢の二指の機能を全廃したもの	1. 一上肢の機能の軽度の障害 2. 一上肢の肩関節、肘関節又は手関節のうち、いずれか一関節の機能の軽度の障害 3. 一上肢の手指の機能の軽度の障害 4. ひとさし指を含めて一上肢の二指の機能の著しい障害 5. 一上肢のなか指、くすり指及び小指を欠くもの 6. 一上肢のなか指、くすり指及び小指の機能を全廃したもの
	下 肢							

			1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
	下 肢		1. 両下肢の機能を全廃したもの 2. 両下肢を大腿の2分の1以上で欠くもの	1. 両下肢の機能の著しい障害 2. 両下肢を下腿の2分の1以上で欠くもの	1. 両下肢をショパール関節以上で欠くもの 2. 一下肢を大腿の2分の1以上で欠くもの 3. 一下肢の機能を全廃したもの	1. 両下肢のすべての指を欠くもの 2. 両下肢のすべての指の機能を全廃したもの 3. 一下肢を下腿の2分の1以上で欠くもの 4. 一下肢の機能の著しい障害 5. 一下肢の股関節又は膝関節の機能を全廃したもの 6. 一下肢が健側に比して、10cm以上又は健側の長さの10分の1以上短いもの	1. 一下肢の股関節又は膝関節の機能の著しい障害 2. 一下肢の足関節の機能を全廃したもの 3. 一下肢が健側に比して、5cm以上又は健側の長さの15分の1以上短いもの	1. 一下肢をリスフラン関節以上で欠くもの 2. 一下肢の足関節の機能の著しい障害	1. 両下肢のすべての指の機能の著しい障害 2. 一下肢の機能の軽度の障害 3. 一下肢の股関節、膝関節又は足関節のうち、いずれか一関節の機能の軽度の障害 4. 一下肢のすべての指を欠くもの 5. 一下肢のすべての指の機能を全廃したもの 6. 一下肢が健側に比して、3cm以上又は健側の長さの20分の1以上短いもの
		体 幹	体幹の機能障害により坐っていることができないもの	1. 体幹の機能障害により坐位又は起立位を保つことが困難なもの 2. 体幹の機能障害により立ち上がるものが困難なもの	体幹の機能障害により歩行が困難なもの		体幹の機能の著しい障害		
肢体不自由	脳病変による運動機能障害 乳幼児期以前の非進行性の	上肢機能	不随意運動・失調等により上肢を使用する日常生活動作がほとんど不可能なもの	不随意運動・失調等により上肢を使用する日常生活動作が極度に制限されるもの	不随意運動・失調等により上肢を使用する日常生活動作が著しく制限されるもの	不随意運動・失調等による上肢の機能障害により、社会での日常生活動作が著しく制限されるもの	不随意運動・失調等による上肢の機能障害により、社会での日常生活動作に支障のあるもの	不随意運動・失調等により上肢の機能の劣るもの	上肢に不随意運動・失調等を有するもの
		移動機能	不随意運動・失調等により歩行が不可能なもの	不随意運動・失調等により歩行が極度に制限されるもの	不随意運動・失調等により歩行が家庭内での日常生活活動に制限されるもの	不随意運動・失調等により、社会での日常生活動作が著しく制限されるもの	不随意運動・失調等により社会での日常生活活動に支障のあるもの	不随意運動・失調等により移動機能の劣るもの	下肢に不随意運動・失調等を有するもの
心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫・肝臓機能障害	心臓機能障害		心臓の機能の障害により自己の身の日常生活活動が極度に制限されるもの		心臓の機能の障害により家庭内での日常生活活動が著しく制限されるもの	心臓の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの			
	じん臓機能障害		じん臓の機能の障害により自己の身の日常生活活動が極度に制限されるもの		じん臓の機能の障害により家庭内での日常生活活動が著しく制限されるもの	じん臓の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの			
	呼吸器機能障害		呼吸器の機能の障害により自己の身の日常生活活動が極度に制限されるもの		呼吸器の機能の障害により家庭内での日常生活活動が著しく制限されるもの	呼吸器の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの			
	ぼうこう又は直腸の機能障害		ぼうこう又は直腸の機能の障害により自己の身の日常生活活動が極度に制限されるもの		ぼうこう又は直腸の機能の障害により家庭内での日常生活活動が著しく制限されるもの	ぼうこう又は直腸の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの			
	小腸機能障害		小腸の機能の障害により自己の身の日常生活活動が極度に制限されるもの		小腸の機能の障害により家庭内での日常生活活動が著しく制限されるもの	小腸の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの			
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害		ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害により日常生活がほとんど不可能なもの	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害により日常生活が極度に制限されるもの	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害により日常生活が著しく制限されるもの（社会での日常生活活動が著しく制限されるものを除く。）	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの			
	肝臓機能障害		肝臓の機能の障害により日常生活活動がほとんど不可能なもの	肝臓の機能の障害により日常生活活動が極度に制限されているもの	肝臓の機能の障害により日常生活活動が著しく制限されるもの（社会での日常生活活動が著しく制限されるものを除く。）	肝臓の機能の障害により社会での日常生活活動が著しく制限されるもの			

3) 障害者総合支援法の対象疾病一覧

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群	66	完全大血管転位症	131	コフィン・ローリー症候群
2	アイザックス症候群	67	眼皮膚白皮症	132	混合性結合組織病
3	IgA腎症	68	偽性副甲狀腺機能低下症	133	鯉耳腎症候群
4	IgG4関連疾患	69	ギャロウェイ・モフト症候群	134	再生不良性貧血
5	亜急性硬化性全脳炎	70	急性壊死性脳症 ○	135	サイトメガロウイルス角膜炎内皮炎 ○
6	アジソン病	71	急性網膜壊死 ○	136	再発性多発軟骨炎
7	アッシャー症候群	72	球脊髄性筋萎縮症	137	左心低形成症候群
8	アトピー性青髄炎	73	急速進行性糸球体腎炎	138	サルコイドーシス
9	アペール症候群	74	強直性脊椎炎	139	三尖弁閉鎖症
10	アミロイドーシス	75	巨細胞性動脈炎	140	三頭筋素欠損症
11	アラジール症候群	76	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	141	CFC症候群
12	アルポート症候群	77	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	142	シェーグレン症候群
13	アレキサンダー病	78	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	143	色素性乾皮症
14	アンジェルマン症候群	79	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	144	自己貪食空胞性ミオパチー
15	アントレー・ピクスラー症候群	80	筋萎縮性側索硬化症	145	自己免疫性肝炎
16	イソ吉草酸血症	81	筋型糖原病	146	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症
17	一次性ネフローゼ症候群	82	筋ジストロフィー	147	自己免疫性溶血性貧血
18	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	83	クッシング病	148	四肢形成不全 ○
19	1p36欠失症候群	84	クリオピリン関連周熱症候群	149	システロール血症
20	遺伝性自己炎症疾患	85	クリッペル・レノネー・ウェーバー症候群	150	シトリン欠損症
21	遺伝性ジストニア	86	クルーゾン症候群	151	紫斑病性腎炎
22	遺伝性周期性四肢麻痺	87	グルコーストランスポーター1欠損症	152	脂肪萎縮症
23	遺伝性肺炎	88	グルタル酸血症1型	153	若年性特発性関節炎
24	遺伝性鉄芽球性貧血	89	グルタル酸血症2型	154	若年性肺炎腫
25	ウィーバー症候群	90	クロウ・深瀬症候群	155	シャルコー・マリイ・トゥース病
26	ウィリアムズ症候群	91	クローン病	156	重症筋無力症
27	ウィルソン病	92	クロンカイト・カナダ症候群	157	修正大血管転位症
28	ウエスト症候群	93	痙攣重積型(二相性)急性脳症	158	出血性線溶異常症 ●
29	ウェルナー症候群	94	結節性硬化症	159	ジュベール症候群関連疾患
30	ウォルフラム症候群	95	結節性多発動脈炎	160	シュワルツ・ヤンベル症候群
31	ウルリッヒ病	96	血栓性血小板減少性紫斑病	161	神経細胞移動異常症
32	HTRA1関連脳小血管病	97	限局性皮質異形成	162	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
33	HTLV-1関連脊髄症	98	原発性肝外門脈閉塞症 ●	163	神経線維腫症
34	ATR-X症候群	99	原発性局所多汗症 ○	164	神経有棘赤血球症
35	ADH分泌異常症	100	原発性硬化性胆管炎	165	進行性核上性麻痺
36	エーラス・ダンロス症候群	101	原発性高脂血症	166	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症
37	エプスタイン症候群	102	原発性側索硬化症	167	進行性骨化性線維異形成症
38	エプスタイン病	103	原発性胆汁性胆管炎	168	進行性多巣性白質脳症
39	エマヌエル症候群	104	原発性免疫不全症候群	169	進行性白質脳症
40	MECP2重複症候群	105	顕微鏡の大腸炎 ○	170	進行性ミオクロヌスてんかん
41	LMNB関連大脳白質脳症 ●	106	顕微鏡的多発血管炎	171	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
42	遠位型ミオパチー	107	高IgD症候群	172	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
43	円錐角膜 ○	108	好酸球性消化管疾患	173	睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症 およびてんかん性脳症 △
44	黄色靱帯骨化症	109	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	174	スタージ・ウェーバー症候群
45	黄斑ジストロフィー	110	好酸球性副鼻腔炎	175	スティーヴンス・ジョンソン症候群
46	大田原症候群	111	抗糸球体基底膜腎炎	176	スミス・マギニス症候群
47	オクシタル・ホーン症候群	112	後縦靱帯骨化症	177	スモン ○
48	オスラー病	113	甲状腺ホルモン不応症	178	脆弱X症候群
49	カーニー複合	114	拘束型心筋症	179	脆弱X症候群関連疾患
50	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	115	高チロシン血症1型	180	成人発症スチル病
51	潰瘍性大腸炎	116	高チロシン血症2型	181	成長ホルモン分泌亢進症
52	下垂体前葉機能低下症	117	高チロシン血症3型	182	脊髄空洞症
53	家族性地中海熱	118	後天性赤芽球癆	183	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
54	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	119	広範脊柱管狭窄症	184	脊髄髄膜瘤
55	家族性良性慢性天疱瘡	120	膠様滴状角膜炎ジストロフィー	185	脊髄性筋萎縮症
56	カナバン病	121	抗リン脂質抗体症候群	186	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症
57	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	122	極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症 ●	187	前眼部形成異常
58	歌舞伎症候群	123	コケイン症候群	188	全身性エリテマトーデス
59	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	124	コステロ症候群	189	全身性強皮症
60	カルニチン回路異常症	125	骨形成不全症	190	先天異常症候群
61	加齢黄斑変性 ○	126	骨髄異形成症候群 ○	191	先天性横隔膜ヘルニア
62	肝型糖原病	127	骨髄線維症 ○	192	先天性核上性球麻痺
63	間質性膀胱炎(ハンナ型)	128	ゴナドトロピン分泌亢進症	193	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症
64	環状20番染色体症候群	129	5p欠失症候群	194	先天性魚鱗癬
65	関節リウマチ	130	コフィン・シリス症候群	195	先天性筋無力症候群

番号	疾病名
196	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) 欠損症
197	先天性三尖弁狭窄症
198	先天性腎性尿崩症
199	先天性赤血球形成異常性貧血
200	先天性僧帽弁狭窄症
201	先天性大脳白質形成不全症
202	先天性肺静脈狭窄症
203	先天性風疹症候群 ○
204	先天性副腎低形成症
205	先天性副腎皮質酵素欠損症
206	先天性ミオパチー
207	先天性無痛無汗症
208	先天性葉酸吸収不全
209	前頭側頭葉変性症
210	線毛機能不全症候群 (カルタゲナー (Kartagener) 症候群を含む。)
211	早期ミオクロニー脳症
212	総動脈幹遺残症
213	総排泄腔遺残
214	総排泄腔外反症
215	ノース症候群
216	ダイヤモンド・ブラックファン貧血
217	第14番染色体父親性ダイソミー症候群
218	大脳皮質基底核変性症
219	大理石骨病
220	ダウン症候群 ○
221	高安動脈炎
222	多系統萎縮症
223	タナトフォリック骨異形成症
224	多発血管炎性肉芽腫症
225	多発性硬化症／視神経脊髄炎
226	多発性軟骨性外骨腫症 ○
227	多発性嚢胞腎
228	多脾症候群
229	タンジール病
230	単心室症
231	弾性線維性仮性黄色腫
232	短腸症候群 ○
233	胆道閉鎖症
234	遅発性内リンパ水腫
235	チャージ症候群
236	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群
237	中毒性表皮壊死症
238	腸管神経節細胞僅少症
239	TRPV4異常症
240	TSH分泌亢進症
241	TNF受容体関連周期性症候群
242	低ホスファターゼ症
243	天疱瘡
244	特発性拡張型心筋症
245	特発性間質性肺炎
246	特発性基底核石灰化症
247	特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る。)
248	特発性後天性全身性無汗症
249	特発性大腿骨頭壊死症
250	特発性多中心性キャッスルマン病
251	特発性門脈圧亢進症
252	特発性両側性感音難聴
253	突発性難聴 ○
254	ドラベ症候群
255	中條・西村症候群
256	那須・ハコラ病

番号	疾病名
257	軟骨無形成症
258	難治頻回部分発作重積型急性脳炎
259	22q11.2欠失症候群
260	乳児発症STING関連血管炎 ●
261	乳幼児肝巨大血管腫
262	尿素サイクル異常症
263	ヌーナン症候群
264	ネイルパテラ症候群 (爪膝蓋骨症候群) / LMX1B 関連症
265	ネフロン癆
266	脳クレアチン欠乏症候群
267	脳髄黄色腫症
268	脳内鉄沈着神経変性症
269	脳表ヘモジデリン沈着症
270	膿疱性乾癬
271	嚢胞性線維症
272	パーキンソン病
273	バージャー病
274	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症
275	肺動脈性肺高血圧症
276	肺胞蛋白症 (自己免疫性又は先天性)
277	肺胞低換気症候群
278	ハッチンソン・ギルフォード症候群
279	バッド・キアリ症候群
280	ハンチントン病
281	汎発性特発性骨増殖症 ○
282	PCDH19 関連症候群
283	PURA 関連神経発達異常症 ●
284	非ケトーシス型高グリシン血症
285	肥厚性皮膚骨膜症
286	非ジストロフィー性ミオトニー症候群
287	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症
288	肥大型心筋症
289	左肺動脈右肺動脈起始症
290	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症
291	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症
292	ピッカースタッフ脳幹脳炎
293	非典型溶血性尿毒症症候群
294	非特異性多発性小腸潰瘍症
295	皮膚筋炎／多発性筋炎
296	びまん性汎細気管支炎 ○
297	肥満低換気症候群 ○
298	表皮水疱症
299	ヒルシュスブルング病 (全結腸型又は小腸型)
300	VATER 症候群
301	ファイファー症候群
302	ファロー四徴症
303	ファンconi 貧血
304	封入体筋炎
305	フェニルケトン尿症
306	フォンタン術後症候群 ○
307	複合カルボキシラーゼ欠損症
308	副甲状腺機能低下症
309	副腎白質ジストロフィー
310	副腎皮質刺激ホルモン不応症
311	ブラウ症候群
312	ブラダー・ウィリ症候群
313	プリオン病
314	プロピオン酸血症
315	PRL 分泌亢進症 (高プロラクチン血症)
316	閉塞性細気管支炎

番号	疾病名
317	β -クトチオラーゼ欠損症
318	ベーチェット病
319	ベスレムミオパチー
320	ヘパリン起因性血小板減少症 ○
321	ヘモクロマトーシス ○
322	ペリー病
323	ペルーシド角膜辺縁変性症 ○
324	ペルオキシソーム病 (副腎白質ジストロフィーを除く。)
325	片側巨脳症
326	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
327	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
328	発作性夜間ヘモグロビン尿症
329	ホモシスチン尿症
330	ポルフィリン症
331	マリネスコ・シェーグレン症候群
332	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群
333	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー
334	慢性血栓塞栓性肺高血圧症
335	慢性再発性多発性骨髄炎
336	慢性膵炎 ○
337	慢性特発性偽性腸閉塞症
338	ミオクロニー欠神てんかん
339	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
340	ミトコンドリア病
341	無虹彩症
342	無脾症候群
343	無 β リボタンパク血症
344	メーブルシロップ尿症
345	メチルグルタコン酸尿症
346	メチルマロン酸血症
347	メビウス症候群
348	免疫性血小板減少症 △
349	メンケス病
350	網膜色素変性症
351	もやもや病
352	モワット・ウィルソン症候群
353	薬剤性過敏症症候群 ○
354	ヤング・シンブゾン症候群
355	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴 ○
356	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
357	4p欠失症候群
358	ライソゾーム病
359	ラスムッセン脳炎
360	ランゲルハンス細胞組織球症 ○
361	ランドウ・クレフナー症候群
362	リジン尿性蛋白不耐症
363	両側性小耳症・外耳道閉鎖症 ○
364	両大血管右室起始症
365	リンパ管腫症/ゴーハム病
366	リンパ脈管筋腫症
367	類天疱瘡 (後天性表皮水疱症を含む。)
368	ルビンシュタイン・ティビ症候群
369	レーベル 遺伝性視神経症
370	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
371	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴 ○
372	レット症候群
373	レノックス・ガストー症候群
374	ロウ症候群 ●
375	ロスムンド・トムソン症候群
376	肋骨異常を伴う先天性側弯症

●令和7年4月1日から新たに対象となった疾病（7疾病）

△表記が変更された疾病（2疾病）

○障害者総合支援法独自の対象疾病（29疾病）

障害者総合支援法の対象外となった疾病について

これらの疾病については、障害者総合支援法の対象外となりましたが、対象外となる前日までにすでに障害福祉サービス等（注）の支給決定等を受けたことがある方は、引き続き利用可能です。

（注）障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業

（障害児の場合は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む）

① 平成27年1月以降に対象外になった疾病

疾病名
劇症肝炎
重症急性膵炎

※平成27年1月以降は対象外となりましたが、平成26年12月31日までに障害福祉サービス等の支給決定を受けている方は引き続き利用可能です。

② 平成27年7月以降に対象外になった疾病

疾病名	疾病名
肝外門脈閉塞症	視神経症
肝内結石症	神経性過食症
偽性低アルドステロン症	神経性食欲不振症
ギラン・バレー症候群	先天性QT延長症候群
グルココルチコイド抵抗症	TSH受容体異常症
原発性アルドステロン症	特発性血栓症
硬化性萎縮性苔癬	フィッシャー症候群
好酸球性筋膜炎	メニエール病

※平成27年7月以降は対象外となりましたが、平成27年6月30日までに障害福祉サービス等の支給決定を受けている方は引き続き利用可能です。

③ 令和元年7月以降に対象外になった疾病

疾病名
正常圧水頭症

※令和元年7月以降は対象外となりましたが、令和元年6月30日までに障害福祉サービス等の支給決定を受けている方は引き続き利用可能です。